

AGCグループ中期経営計画 “AGC plus-2020” の進捗

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'A' and the 'G'.

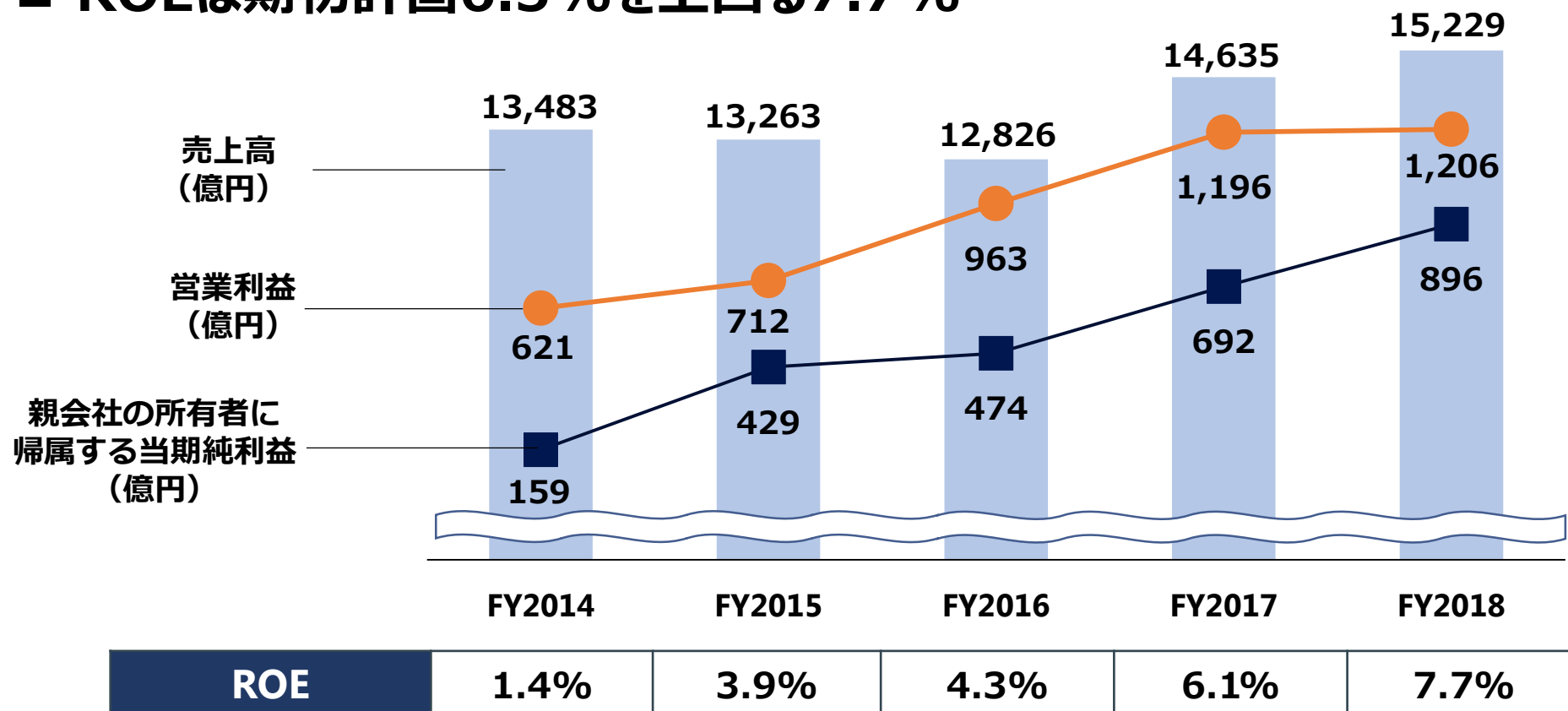
AGC株式会社

2019年2月6日

Your Dreams, Our Challenge

1. *AGC plus-2020* の達成に向けて

- 営業利益・親会社の所有者に帰属する当期純利益は4期連続増益
- 親会社の所有者に帰属する当期純利益はその他収支の改善などもあり過去3番目に高い水準
- ROEは期初計画6.5%を上回る7.7%



“2025年のありたい姿”

コア事業が確固たる収益基盤となり、
戦略事業が成長エンジンとして一層の収益拡大を牽引する、
高収益のグローバルな優良素材メーカーとなる

コア事業

ポートフォリオ経営の徹底による
長期安定的な収益基盤の構築

- ・ 建築用ガラス
- ・ 自動車用ガラス（既存）
- ・ 基礎化学品
- ・ フッ素化学品
- ・ ディ스플레이
- ・ セラミックス

戦略事業

高付加価値ビジネスの拡大による
高収益事業の確立

- ・ モビリティ
- ・ エレクトロニクス
- ・ ライフサイエンス

AGC plus-2020 では2025年に向けた礎を築く

- 市況変動に強い高付加価値事業を伸ばす
- 戦略事業の成長戦略を推進する
- 成長地域・勝てる地域へ経営資源を集中する
- 戦略的なM&Aにより持続的成長を図る

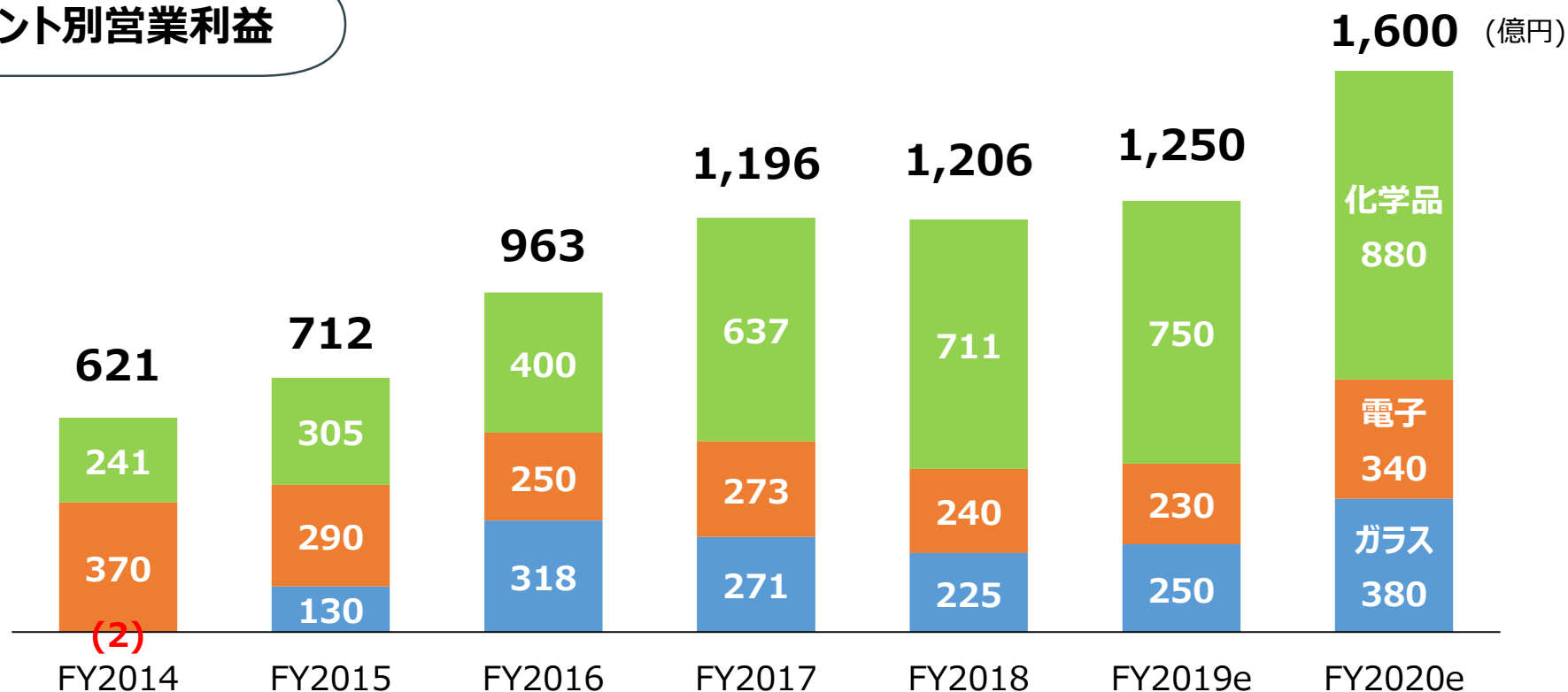


	FY2018	FY2020 目標	FY2025 目標
営業利益	1,206億円	1,600億円 以上	2,292億円 以上 (過去最高益更新)
ROE	7.7%	8.0% 以上	10.0% 以上
戦略事業 利益貢献比率	17%	25% 以上	40% 以上
D/E	0.43	0.5 以下	0.5 以下

2020年までのセグメント別営業利益推移

- 2014年から2018年の4年間で営業利益は倍増
- 2020年より投資の効果発現が本格化し、一段の増益を見込む

セグメント別営業利益

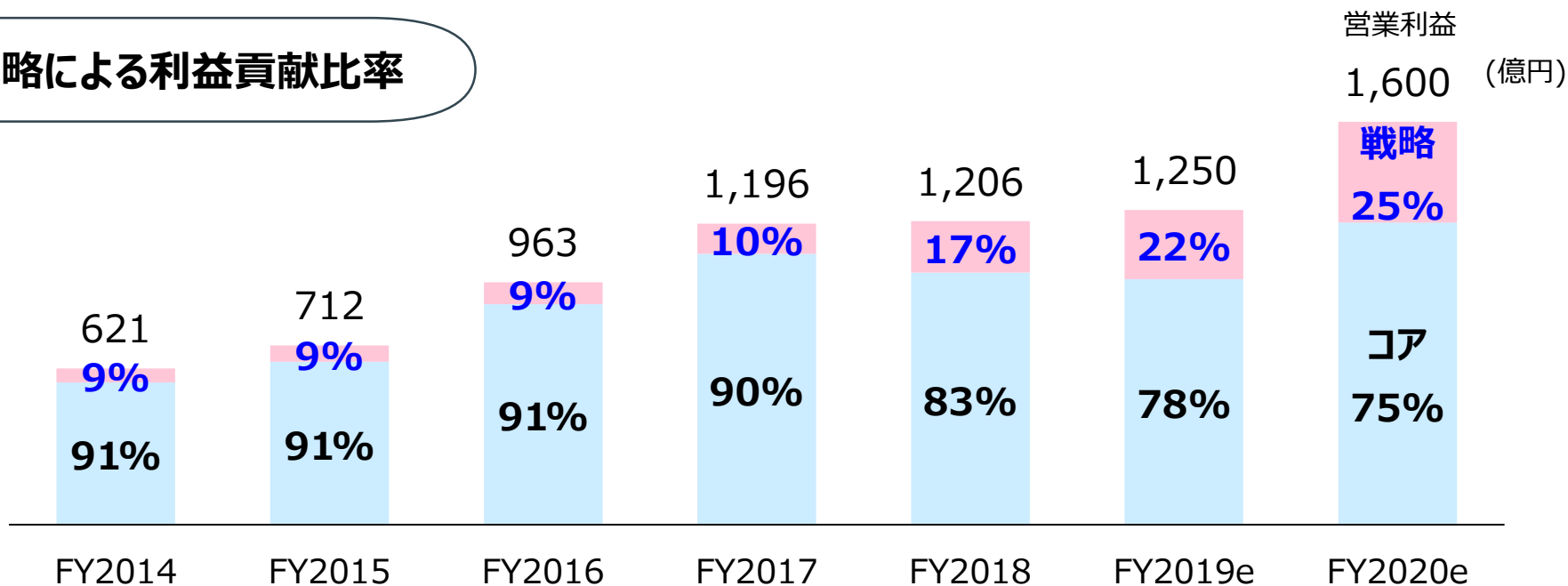


※セラミックス・その他、および消去の数値を除いたグラフの為、各セグメントの合計額は総合計と一致しません

2020年までの利益貢献比率 ～戦略事業、M&A～

- 2020年の戦略事業・利益貢献比率は25%を見込む
- M&Aによる利益貢献比率も徐々に増加

コア/戦略による利益貢献比率



M&Aによる利益貢献比率		4%	8%	9%	10%
主なM&A案件	バイオミーバ社	・ CMC 社 ・ ビニタイ 社	パーク 社 (I&Lエレクトロニクス事業)	マルグラット・ファー マ・ケミカルズ社	

2020年営業利益目標達成に向けて ~2019 vs 2020~

ガラスセグメント

安定した市場を背景に、勝てる地域で「稼ぐ力」を伸ばす



建築用ガラス

- ・ 欧州設備改修による生産性、燃費向上
- ・ 2019年稼働開始のブラジル新窯が本格的に利益貢献



自動車用ガラス

- ・ 2019年稼働開始のモロッコ新工場が利益貢献
- ・ 新技術・新設備の導入による高付加価値対応、生産性向上

電子セグメント

電子部材事業が大きく成長



ディスプレイ

- ・ 価格下落はマイルドに、2019年稼働開始のG11新設備がフル稼働



電子部材

- ・ EUVマスクブランクスなど半導体関連製品やオプトエレクトロニクス新製品拡販

化学品セグメント

ライフサイエンス事業が大きく成長



カーボンアルカリ・ウレタン

- ・ 市況は堅調、東南アジア増設効果は次期中計にて発現



フッ素・スパシリティ

- ・ 輸送用機器・半導体・ディスプレイ向け製品や冷媒が安定的に成長

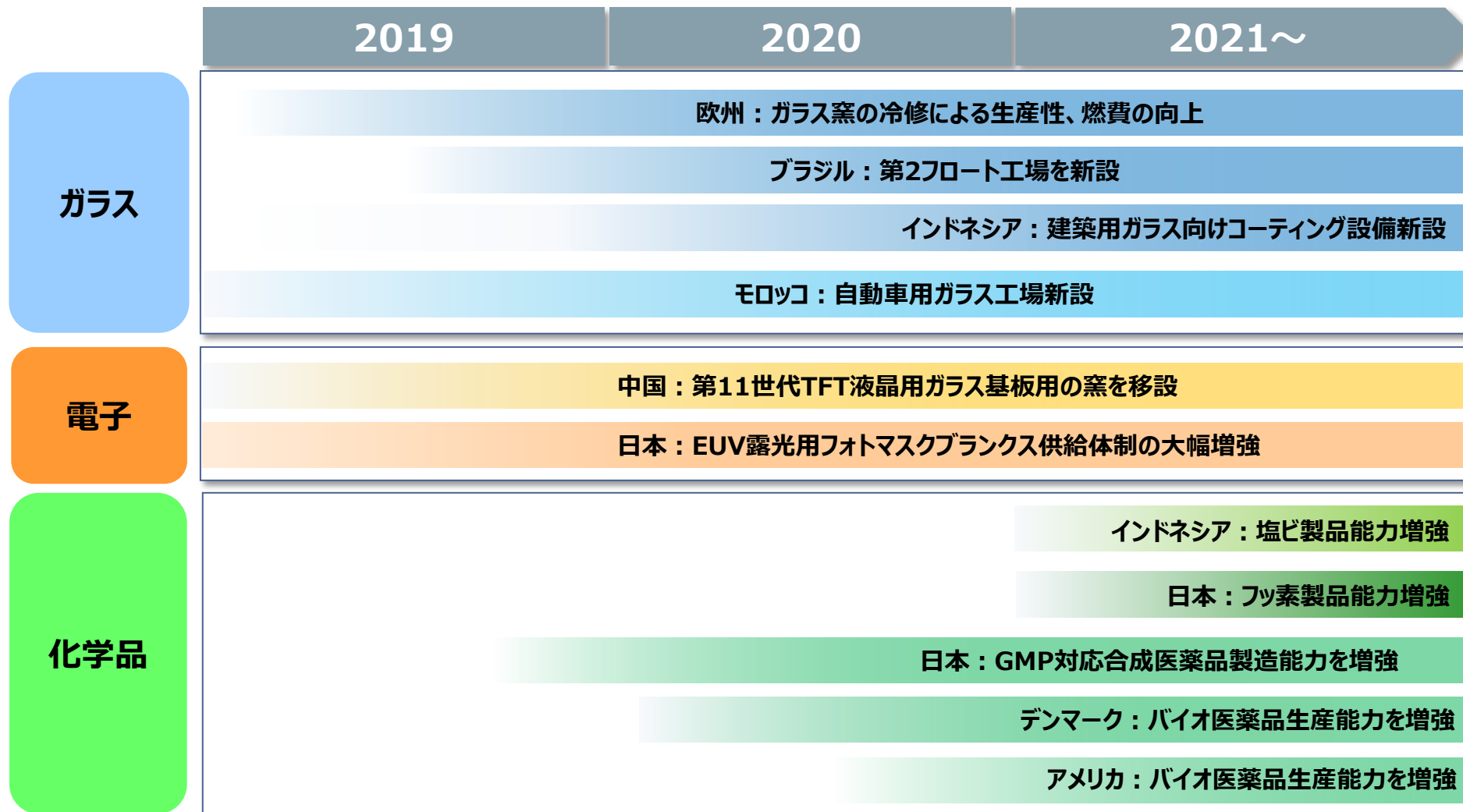


ライフサイエンス

- ・ 積極投資でCDMOビジネス拡大

※矢印は各事業の成長イメージ

主な投資案件と利益効果発現のタイミング



2. 戦略事業の進捗

【マクロ環境の変化】

IoT時代の到来
交通インフラの進化
新たなエコシステムの構築

長寿命化
世界人口の増加
安全・安心・快適の追求



モビリティ

つながる車／自動運転
情報表示の進化
輸送機器の更なる軽量化

エレクトロニクス

IoT/AI時代の到来
次世代高速通信／自動運転
新デバイスの普及

ライフサイエンス

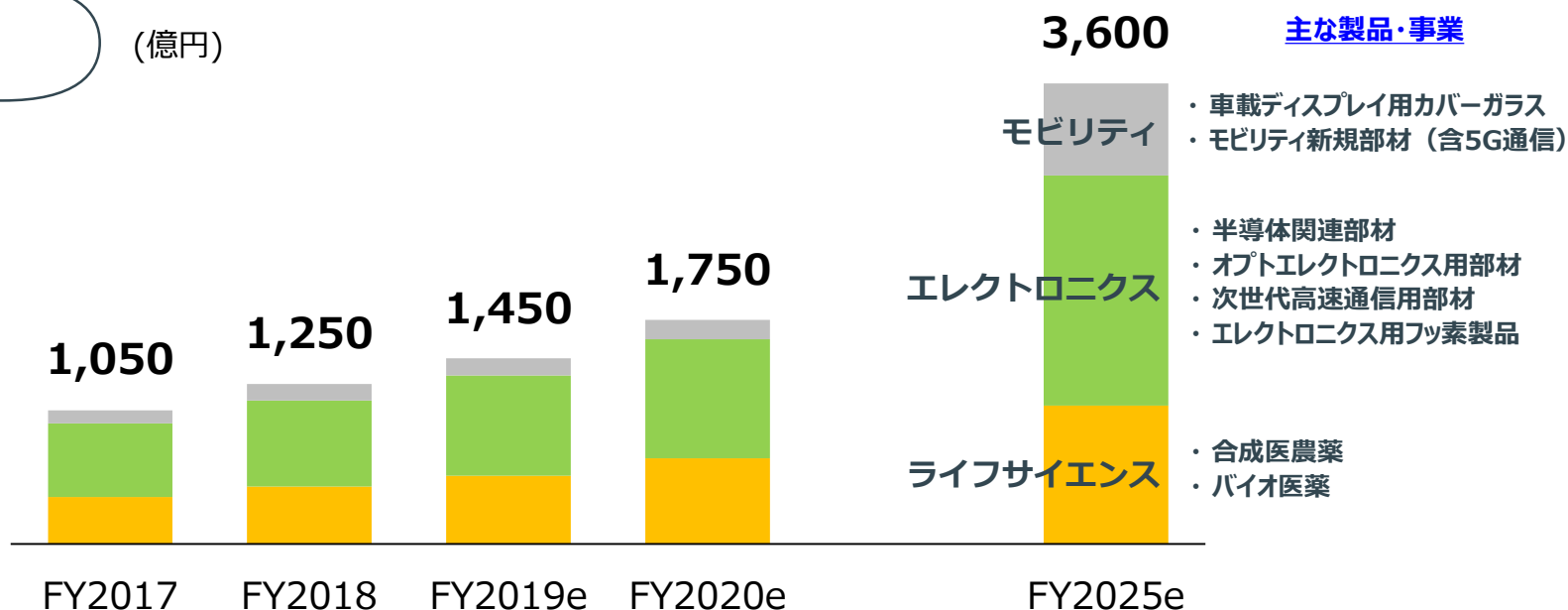
安心・安全な治療
長寿命化
世界人口の増加

戦略事業

- エレクトロニクスとライフサイエンスが先行して利益貢献
- モビリティは2021年以降徐々に業績に寄与

戦略事業 売上高

(億円)



戦略事業 営業利益	120	210	280	400	900	(億円)
営業利益貢献比率	10%	17%	22%	25%	40%	

市場トレンド

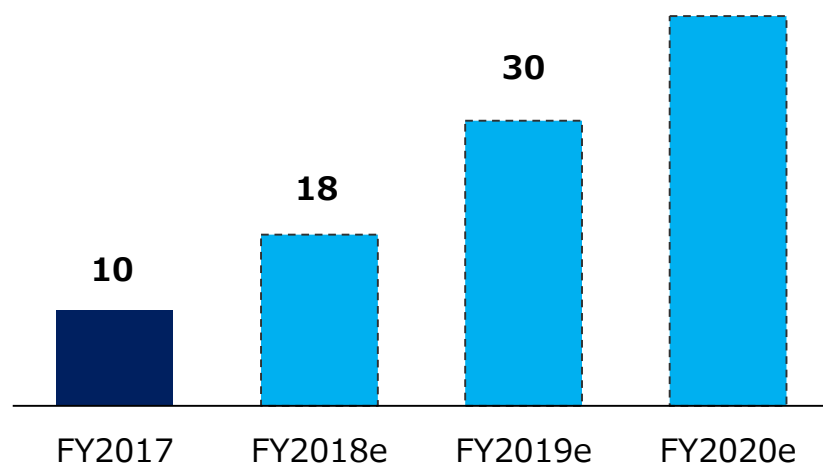
- 『低消費電力』、『小型化』、『高効率化』、『高耐久』といった大きな技術トレンドを背景に、継続的な市場拡大が続く

当社見通し

- EUVマスクブランクスは2020年に2018年比で売上4倍、シェア50%を目指す
- 他の部材も、CMPスラリーなどハイエンドな消耗材を中心に売上を拡大していく

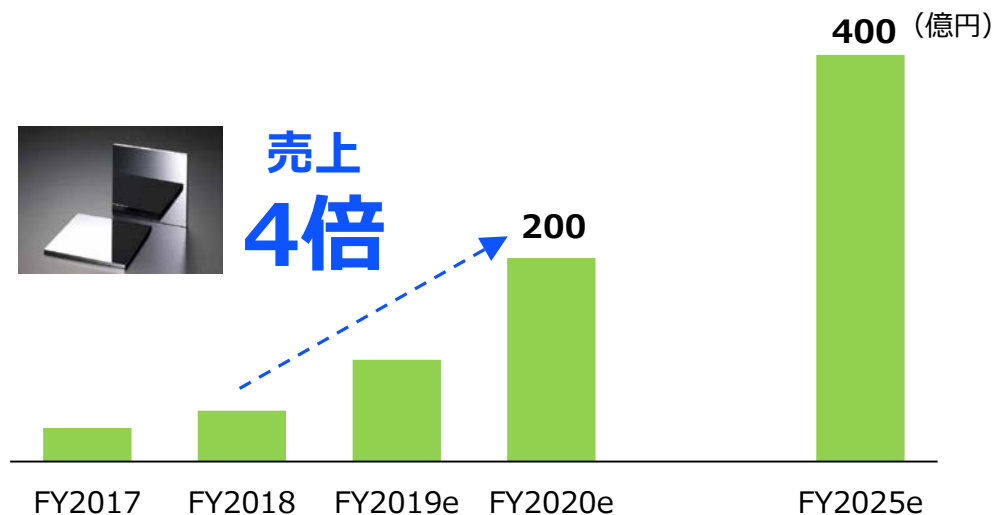
EUVマスクブランクの売上目標 2020年 **200億円以上** 2025年 **400億円以上**

EUV露光装置の出荷台数推移



出所：SEMICON Japan 2018 ASML報告資料を元に当社が作成

当社EUVマスクブランクス売上推移



市場トレンド

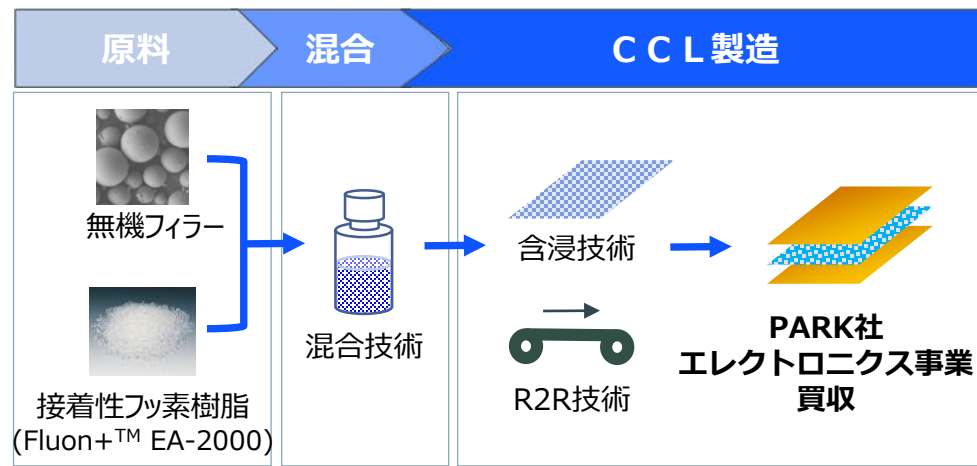
- ・「超高速・大容量化」、「超大量接続」といった、5G等の通信技術の進化が加速

当社の強み

- ・“伝送損失が低い”無機材料や有機材料を保有
- ・素材～製品まで一貫した自社製造技術
- ・アプリケーションに通じた技術と人材、お客様とのつながり

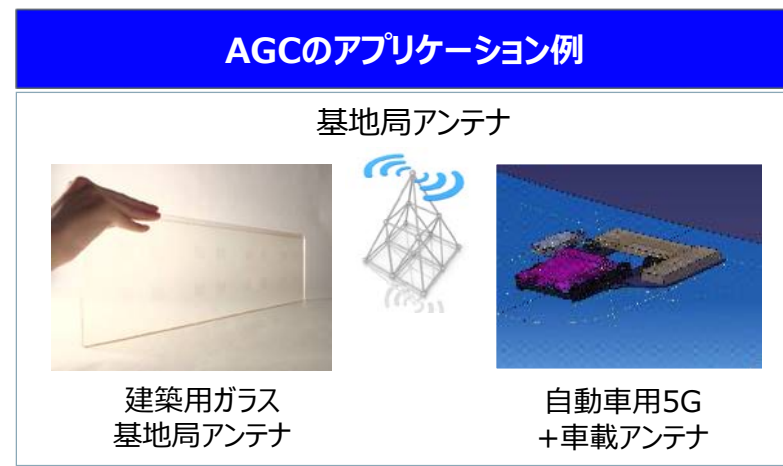
次世代高速通信用の売上目標 2025年 **600億円**以上

CCL >> 素材／製品 様々な形態で提供可能



現中計から利益貢献

アンテナ >> 保有技術 + お客様 = 新たな価値



将来の利益貢献

市場トレンド

- ・ 処方薬市場は2022年1,070B USD(約120兆円)、うち約30%がバイオに
- ・ 2018-2024年の年平均成長率見込：低分子 約5% バイオ 約9%

当社事業展開

- ・ M&Aや設備増強によりグローバルで製造販売を拡大

ライフサイエンスの売上目標



2020年

650億円以上
(従来予想：600億円)

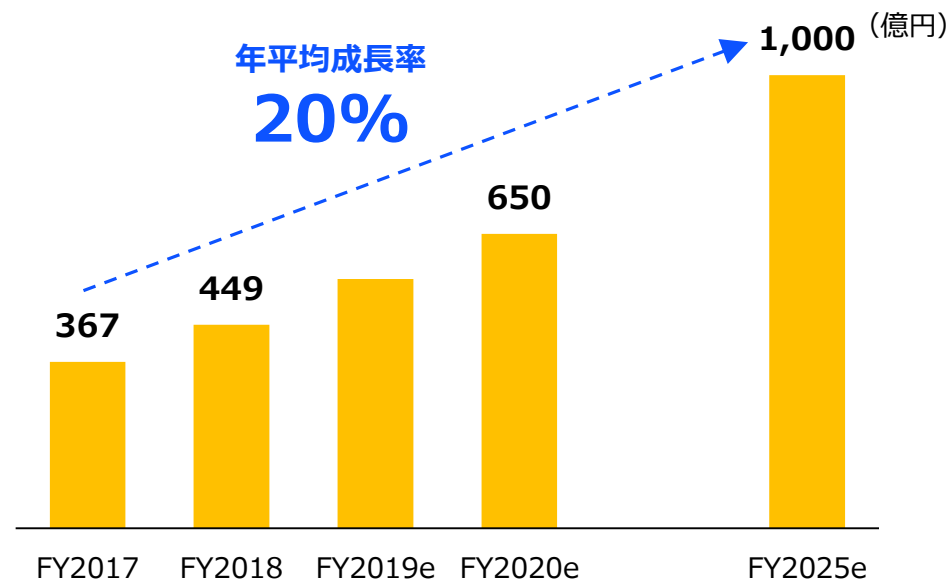
2025年

1,000億円以上

AGCのグローバル展開

	日本	欧米
合成 医農薬 	増強投資 千葉：GMP対応合成医薬品を10倍に増強 (2019年10月～)	M&A スペイン：マルグラット・ファーマ・ケミカルズ社買収 (2019年)
バイオ 医薬 	増強投資 千葉：cGMP対応医薬品(動物細胞)受託設備を新設 (2019年7月～)	増強投資 アメリカ：バイオ医薬品生産能力を3倍に増強 (2020年7月～)

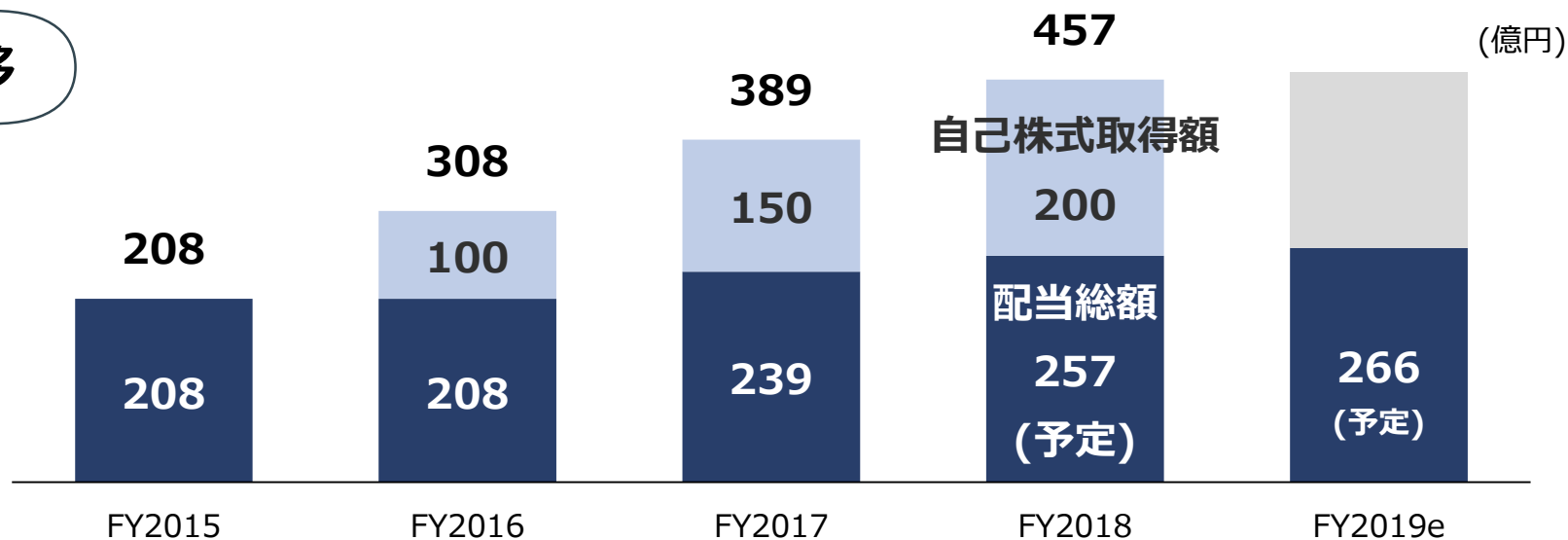
ライフサイエンス事業の売上推移



3. 株主還元方針

- 2018年期末配当は従来予想から5円増配を予定
(1株当たり年間配当額は115円となる見込み)
- 2019年も連結総還元性向50%以上を継続、前期比5円増配予定
- 過去3年間に取得した自己株式は全て消却済

総還元額 推移



一株当たり 配当金(年間)	90円	90円	105円	115円(予定) ^{*1}	120円(予定)
連結 総還元性向	49%	65%	56%	51%(予定)	50%以上(方針)

*1 従来予想：110円

AGC plus

- 私たちAGCグループは、
- ・世の中に「安心・安全・快適」を
 - ・お客様・お取引先様に
「新たな価値・機能」と「信頼」を
 - ・従業員に「働く喜び」を
 - ・投資家の皆様に「企業価値」を プラスする。

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

AGC

Your Dreams, Our Challenge

END